

公衆衛生学 (薬学部)

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》寺崎 将 (薬学部)

【概要】

"B 社会と薬学"、"C 基礎薬学"および"D 医療薬学"で学修した様々な疾病、健康被害および感染症に関する基礎知識をもとに、公衆衛生学の視点から、環境要因によって起こる疾病や健康被害と予防策・防止策について学修する。

【学修目標】

人の健康の維持・増進のために、公衆衛生上の課題の疫学的解析の手法と、これに基づいて解決策を見出すプロセスについて説明する。

社会や集団において環境要因によって起こる様々な疾病や健康被害について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適切に予防・防止することの必要性を説明する。

環境要因によって起こる疾病や健康被害について、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策や防止策を立案する。

環境要因によって起こる疾病や健康被害に対する予防策や防止策の効果を検証・評価する。

人の健康の維持・増進のために、人の健康を脅かす感染症について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適切に予防・まん延防止することの必要性を説明する。

発生した感染症について、感染状況や保健・医療体制の把握、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策やまん延防止策を立案する。

感染症に対する予防策やまん延防止策の効果を検証・評価する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。